

展示リニューアル実施設計について

1 目的

「仙台市科学館展示リニューアル基本設計」（以下、「基本設計」という。）に基づき、より具体的な検討を行い、本市の理科教育及び防災教育の充実を図るとともに、利用性、更新性、維持管理性なども総合的に考慮する展示リニューアル実施設計を取りまとめる。また、類似施設の動向などを踏まえながら、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた体験展示（非接触センサ等）の検討及び管理者による消毒の実施等にも配慮する。

2 委託業務の概要

- (1) 業務名 仙台市科学館展示リニューアル実施設計業務委託
(2) 業務期間 契約締結日から令和4年3月31日まで

3 業務対象範囲

- (1) 展示基本設計：3、4階を中心に館内全域
・3階展示室 約1,800 m²
・4階展示室 約1,800 m²
・3階エントランス 約800 m²
・その他（1階 図書資料室等）
(2) 施設改修計画：施設サイン、展示に係る電気・給排水設備

4 業務内容

基本設計を参考に、新型コロナウイルス等の感染症の予防の観点から、今後の展示体験の在り方を検討の上、以下のアからキに配慮した実施設計を行うものとする。

- ア 全体として、来館者が密集、密接とならない空間づくりを行う。
イ 原則、ハンズオン展示を行わない。ただし、ハンズオン展示を行わなければ展示リニューアルの目的を達成できない場合は、発注者と協議の上、必要最小限のハンズオン展示を行う。この場合、施設管理者が消毒しやすいように工夫する。
ウ 特定の展示の前に大勢の人数が滞留しないための工夫を行う。
エ 展示の作動や解説のための音声・映像などを開始させるためのスイッチは、非接触式でメンテナンスが容易なものとする。
オ キーボードを展示に組み込む場合は、来館者が触れないように設置する。また、タブレットやタッチパネルを展示に組み込む場合は、非接触式でメンテナンスが容易なものとする。やむを得ず接触式のものとする場合には、施設管理者が消毒しやすいように工夫する。
カ 展示ケースに触れないように工夫する。
キ 来館者が着席できるスペースを設ける場合は、対面での会話を自然と避けられるように、かつ、他の来館者と密接にならないように工夫する。

(1) 基本設計の確認・与件整理

基本設計を適切に理解した上で、かつ、これのみに囚われることなく、本施設において想定される利用者層や求められる諸機能等を十分に検討し、制作コストを見据えながら実施設計を行う。

(2) 展示実施設計

(1)に基づき、以下の業務を行うものとする。

ア 展示手法・演出の確定

イ 展示室ゾーニング、動線計画、展示対象資料の空間配置の確定

ウ 展示構成表の作成（ゾーンの目的、狙い、展示項目、演出手法等）

エ 上記に基づく展示実施設計図書の作成

展示室全体平面図、展開図、展示資料構成図、什器造作図、資料演示具図、展示電気設備図（配灯図、照明機器図、コンセント位置図）、給排水設備図、展示AV機器構成図、模型・造形図、展示装置図、グラフィック構成図等

オ 上記を補足する展示設計説明書の作成

展示装置・映像・デジタルコンテンツ・展示毎の解説内容の概要（小学校中学年程度、および中学校終了程度レベルの2段階）等

カ イメージパースの作成

キ 年度別の展示維持管理コスト試算（定期保守、修繕等）

※耐久性や修繕のし易さ等についても明記すること。

(3) 設計積算書の作成（既存展示物を移設又は撤去するために要する経費を含み、複数年度に渡る場合は年度ごと作成し、その合計も作成する。）

(4) 展示製作工程表の作成

解体・移設・保管なども踏まえ、3階展示室又は4階展示室のどちらか一方を開館しながら、展示製作を実施するための方策を検討し、工程表を作成する。（複数年度に渡る場合は年度ごとの作成とする。）